

# そらこめ通信

No.26 2012.09発行

日頃より弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。心からお礼を申し上げます。  
8月に入っても雨が少ない状況は変わらず、気温も高めに推移しています。先日、発表された今年の水稻の作況指数は空知が「やや良」の102とか。昨年に引き続き良い出来秋が期待できそうです。

先月の「そらこめ通信」にも書きましたが、今年の夏は本当に雨が少なく気温も高め…というより、8月の後半になってから異常とも言うべき高温の日が続いています。今のところ台風の到来ありません。これだけ雨が降らないと真っ先に頭をよぎるのが「水不足」ですが、冬の間、雪に閉ざされる北海道はその大量の「融雪水」のおかげで、水稻栽培においては水不足の心配がありません。勿論、雪解け水を一時的にためておく水瓶としての「ダム」と、その水を配る水路があつての話です。一時、「ダム不要論」を唱えた人たちがいましたが、こういった異常時にこそその価値が良く判るといふもの。水不足の時だけでなく、集中豪雨の時も「ダム」は静かに我々を守ってくれているのです。

さて、話は変わりますが8月は沼田町民にとって特別な月です。今や全国的に有名になったお祭り「夜高あんどん祭り」が開催される月だから。今年も8月24日(金)と25日(土)の2日間にわたって「第36回沼田町夜高あんどん祭り」が華やかに開催され、全国各地から大勢の観光客が来町しました。この町出身の若者はこの祭りに合わせて里帰りをします。高齢化が進む中で、こうした祭りを続けることはとても大変なことです、何とか続けてもらいたいものです。



育苗ハウスの空きを利用した花卉の栽培と、咲いた「ダリア」の花たち…ダリアは昨年からはじめました。(8月3日撮影)



摘心仕立て(先端の芽を摘み取ることで多くの小輪の花が咲くように仕立てること)の作業風景(8月3日撮影)

弊社では、水稻のほかに育苗ハウスの空きを利用して花卉の栽培を行っています。写真の花は昨年からはじめた「ダリア」です。このほかに「シネンシス」という花も栽培しています。



黄金色に色付き始めた圃場のようす～稲穂もかなり垂れ下がってきました。(8月25日撮影)

第36回沼田町夜高あんどん祭り(8月24日～25日)



夜高会館前での出陣式(8月24日)

商工会いざ、出陣!(8月24日)

台車に乗っているのは弊社の山崎君



山崎君と共に盛り上がる商工会メンバー

グループ会社の職員たち(8月24日)

タレントのワッキーさん登場(8月25日)



日没と同時に明かりが灯るあんどんと、大型あんどん同士のぶつけ合い(8月25日)

最後は花火で締めくくり(8月25日)

今年で36回目を迎えた沼田町夜高あんどん祭り。この祭りの期間中に里帰りをして盛り上がる若者が大勢います。これからも安全で美味しいお米の生産に努めますので、引き続きご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

インターネットで美味しいお米♪

(株)空知こめ工房 ホームページ

<http://www.sorachi-kome.jp/>

ブログ「生産日誌」更新中です